

授業コード	2121331nh2	科目ナンバリング	-----
授業名	欧米文化研究		
英文名	Cultural Studies(Europe and America)		
配当学年	1年	単位数	2.0単位
開講年度・学期	2023年度前期	曜日・時限	水曜2限
実施教室			
授業形態	講義		
学位授与方針（D P）	理工学部理工学科DP5		
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴		

目的概要	本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。
達成目標	(1) 学生が「教養」について考えることができる。 (2) 学生が自分たちの文化と多文化との関係を理解できる。 (3) 学生が欧米文化と現在の日本を結びつけて考えることができる。
関連科目	「戦争と平和の歴史／歴史学A」「歴史学／歴史学B」「教養ゼミナールB／人文社会学ゼミB（中島）」「多文化コミュニケーションA／教養ワークショップA」「多文化コミュニケーションB／教養ワークショップB」
履修条件	とくになし。
教科書名	新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。
参考書名	トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』原書房、2017年ほか、講義中に詳しく述べる。
評価方法	授業中提出課題20～30パーセント+試験70～80パーセント 第14回目の講義時間中に試験を実施します。
事前・事後学習	【事前学習】シラバスの指示に従い参考書等の該当箇所に目を通しておくこと。 【事後学習】毎回の授業終了後、参考書等の授業内容に対応する部分を復習すること。
自由記載欄	【アクティブラーニング】 授業中、ビブリオバトル形式の書評会を行う。 【ICTの活用】 とくになし。

テーマ・学習内容	
<第1回>	授業概要について／ヨーロッパとアメリカの文化
第1回 事前・事後学習	シラバスを確認し、講義内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を探しておく。（計190分）
<第2回>	欧米文化と日本（教養、大学、大衆化、消費文化）
第2回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第3回>	識字率の向上と文豪（1）ヨーロッパにおける識字率の増大と文学の形成
第3回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第4回>	識字率の向上と文豪（2）ドキュメンタリー・映画を見て、名作の世界を体験する
第4回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。（計190分）
<第5回>	大学と高等教育のエリート化 近代的な大学の形成と知識人
第5回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第6回>	第一次世界大戦の衝撃 ドキュメンタリ・映画を通じて
第6回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第7回>	第一次世界大戦後の社会変容と文化
第7回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。（計190分）
<第8回>	ナチ政権と文化（1） ナチ政権は何をもたらしたのだろうか。文化と社会に注目する。
第8回 事前・事後学習	講義中に見たドキュメンタリー・映画について、解説を参考にレポートを作成、提出してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第9回>	ナチ政権と文化（2）映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。
第9回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第10回>	大衆消費文化（1）アメリカの消費文化の形成とその世界化を見ていく。
第10回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。（計190分）
<第11回>	大衆消費文化（2）映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。
第11回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
<第12回>	大衆消費文化（3）大衆消費社会の特徴、批判を知る
第12回 事前・事後学習	講義中に見たドキュメンタリー・映画について、解説を参考にレポートを作成、提出してください。（計190分）
<第13回>	ヨーロッパ、アメリカの文化と現代
第13回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。（計190分）
<第14回>	前期の総復習（試験含む）
第14回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。（計190分）
質問への対応（オフィスアワー等）	1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは金曜17:10-18:00、講義や会議が入る場合がありますので、事前にご連絡ください。
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
履修上の注意事項（クラス分け情報）	
学習上の助言	講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。
備考	
J A B E E	RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係性を「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。

学期末試験＜事務部記入＞	
試験方法	ネット実施
試験実施日時	2022/12/20 火 3時限
参照可否	ノート及び教科書「歴史のなかのラディカリズム」のみ可能
着席方法	試験着席
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	